

令和2年度とちぎ健康福祉協会事業計画

I 基本方針

当協会は、児童・障害者福祉から県民の健康づくり・高齢者の生きがいづくり支援まで多岐にわたる事業を実施している社会福祉法人であり、事業の実施に当たっては、「とちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）」を業務運営の指針とし、基本理念とする「利用者一人ひとりが、その人らしく、地域社会において健やかに育ち、心豊かに暮らすことを支援する－健康経営 みんなの力で あふれる笑顔－」のもと、次の基本方針に基づき、事業を展開する。

- ① 質の高いサービスの提供
- ② 自主自立経営の確立
- ③ 地域社会への貢献

II 重点事項

令和2年度は、平成30年度から5年間の計画であるとちぎ健康福祉協会基本計画（三期計画）の3年目に当たり、計画に掲げた事業の着実な実施に努めるとともに、次の事項を重点的に実施する。

また、とちぎ健康づくりセンター・とちぎ生きがいづくりセンターのより効率的かつ円滑な管理運営に資するとともに、利用者にとって分かりやすい名称と組織の見直しを行い、より一層のサービスの充実を図っていく。

1 桜ふれあいの郷建替整備事業の推進

社会福祉充実計画に基づき実施している当該事業について、桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事を着実に進めて完了させ、引越等業務を円滑に遂行し、新しい施設における利用者の生活環境向上及びサービスの向上を図るための体制を整える。

2 新たな人事管理制度の構築

令和元年度から取り組んでいる新たな人事管理制度の構築について、外部コンサルタントを活用し、プロジェクトチームによる検討を経て、多くの職員の参画による現状分析、課題検討を踏まえながら、キャリアパス制度、人材育成制度及び給与制度等を新たに整備する。

III 事業運営

1 総務福祉部

(所管事業)

事業所名	施設種別・事業名称等			利用定員	備考
支援業務課 (栃木県立リハビリテーションセンター障害者自立訓練センター(駒生園))	障害者支援施設		施設入所支援 自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練) 短期入所	30人 30人 10人 4人	実施主体は、地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター
わかくさ	母子生活支援施設			20世帯	
桜ふれあいの郷	福祉型障害児入所施設			15人	
	桜ふれあいの郷 児童施設	障害者支援施設(併設)	施設入所支援 生活介護 短期入所	15人 15人 1人	
			施設入所支援 生活介護 短期入所 日中一時支援	130人 135人 4人 15人	R2.4変更(変更前135人) R2.4変更(変更前140人)
			施設入所支援 生活介護 就労継続支援B型 短期入所	40人 25人 55人 2人	
	障がい者支援センターふれあい	共同生活援助		54人	8住居
		障害者就業・生活支援センター			雇用安定等事業(国) 生活支援等事業(県)
		職場適応援助者事業			高齢・障害・求職者雇用支援機構
		特定相談支援事業			
		一般相談支援事業			
		障害児相談支援事業			障害者総合支援法(指定)
清風園	清風園 生活支援施設	障害者支援施設	施設入所支援 生活介護 短期入所 日中一時支援	50人 53人 5人 5人	
			施設入所支援 生活介護 就労継続支援B型 短期入所 日中一時支援	50人 45人 20人 2人 2人	
宝木保育園		保育所		160人	

(1) 総務課

協会本部としての総合的企画調整機能及び経営管理体制の充実強化に努めるとともに、各施設等と連携し、協会の自主自立経営の確立を図るために必要な事業を推進する。

事業運営に当たり、本年度は次の事項について、重点的に実施することとする。

○桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事の着実な実施

○外部コンサルタントを活用の上、プロジェクトチームの議論、検討を通じた新たな人事管理制度の構築

○会計システムの刷新による予算決算管理の事務効率化、経営分析の多角化の推進

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 安全で快適な利用環境の確保

○桜ふれあいの郷建替整備新築その他工事の着実な実施

整備箇所	現在地建替
事業期間	平成29年度～令和3年度
平成29年度	基本計画策定、基本設計
平成30年度	基本設計・実施設計、体育館解体等工事
令和元年度	建物新築工事着手
令和2年度	建物新築工事完了、引越、既存施設解体工事設計
令和3年度	既存施設解体工事
構造	鉄筋コンクリート造及び鉄骨造 平屋建一部二階建
延床面積	11,060.24m ²
総事業費	約47.3億円

イ 人材の確保及び職員の資質向上

○外部コンサルタントを活用の上、プロジェクトチームの議論、検討を通じた新たな人事管理制度の構築

- ・キャリアパス制度の導入
- ・給与・服務制度等の見直しと適切な運用
- ・職員研修体系の整備

○競争試験、校長推薦、嘱託職員の正規職員への登用、障害者雇用等様々な手法による職員採用

ウ 情報公開の推進

- 事業計画、事業報告書等の備置・閲覧と公表
- ホームページの見直し
- 機関紙「かたらい」の発行

② 自主自立経営の確立

ア 経営管理体制の強化

- 会計システムの刷新による予算決算管理の事務効率化、経営分析の多角化の推進
- 中長期的な資金計画の時点修正の実施
- 月次報告作成時の経営分析の実施

イ 健康経営の推進

- 勤怠管理システムの活用等による労働時間の適正管理
- 職員提案制度等の活用
- 給与・服務制度の見直し

(2) 支援業務課

栃木県立リハビリテーションセンター障害者自立訓練センター（駒生園）の利用者支援に係る業務を受託し、次の項目を推進する。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- ア 利用者本位のサービスの提供
- 利用者の特性に配慮した説明や選択肢の提示
 - 意見箱の活用

イ 安全で快適な利用環境の確保

- 苦情や相談受付担当者の設置
- インシデント・アクシデントの事例の検証及び活用

ウ 人材の確保及び職員の資質向上

- 生活支援員、看護師、OT、PT等職種間の連携

(3) わかくさ

母子を共に入所させる施設の特性を生かし、親子関係の再構築と生活の安定が図られるよ

う、就労や日常生活及び児童養育に関する相談支援を行うとともに、退所後の相談やその他の援助を行うことで社会的自立を促進する。

また、子どもの貧困対策の推進に努め、関係機関と連携し、児童の生育環境等の整備に取り組む。

事業運営に当たり、本年度は次の事項について重点的に実施することとする。

○防災対策に係る備品の整備による災害時における利用者の安全確保

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

○日常的な声かけや面談等の機会を捉え、母親の悩みごとに早期に気付くことによる利用者世帯の子に対する虐待の未然防止、早期発見

○心理相談事業の実施

○母親常会、子ども常会の開催

イ 安全で快適な利用環境の確保

○福祉サービス第三者評価の受審

○防災対策に係る備品の整備による災害時における利用者の安全確保

○福祉事務所、学校、保育園との連絡会議の開催

○学習教室の開催による学力の向上

○利用者の働き方に対応した補完保育の実施

○夜間宿直の実施

○防災・防犯訓練の実施

ウ 人材の確保及び職員の資質向上

○基幹的職員を中心としたOJTの活用と内部研修の実施

エ 情報公開の推進

○福祉サービス第三者評価受審結果の公表

② 自主自立経営の確立

ア 収入の確保と経費節減

○関係機関等へのパンフレット送付等による広報

○施設見学の積極的受入や来所困難者に対する現地に赴いての説明

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

○養育講座等ひとり親世帯を対象とした講座の実施

イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

○緊急一時利用の受入

○一時保護受託事業の実施

ウ ボランティアの育成と連携

○子どもたちとの交流を目的としたボランティアの受入

○学習支援に係るボランティアの受入

(4) 桜ふれあいの郷

利用者の権利擁護に努め、自己選択と自己決定が図られるよう、その意思及び人格を尊重するとともに、利用者個々の能力に応じた自立と社会活動への参加を促進するため、質の高い障害福祉サービスを提供する。

また、利用者の心身の状態や地域生活への意欲等を勘案しながら、グループホーム等地域生活への移行を進め、「障がい者支援センターふれあい」を、地域で生活する障害児者及びその家族に対する支援の拠点とし、総合的な福祉サービス事業を推進する。

事業運営に当たり、本年度は次の事項について重点的に実施することとする。

○施設新築後の利用者の引越の円滑な実施及び環境の変化に対する十分な配慮並びに早期適応に向けた支援

○新施設におけるより良いサービス提供体制の構築

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

○施設新築後の利用者の引越の円滑な実施及び環境の変化に対する十分な配慮並びに早期適応に向けた支援

○新施設におけるより良いサービス提供体制の構築

○虐待防止委員会の専門部会（虐待防止推進部会）の開催

○職員倫理綱領の唱和

○モニタリング等による利用者の意思確認、個別支援計画への反映

○苦情解決第三者委員の各委員からの意見聴取

イ 安全で快適な利用環境の確保

- 施設建替整備による居室の個室化、ユニット化の推進
- 送迎用マイクロバスの更新による安全かつ快適な送迎体制の整備（1台）
- 重度化、高齢化した利用者の増加に対応した医療ケア・支援技術取得のための研修受講
- インシデント・アクシデント報告書の周知徹底・原因分析の実施

ウ 人材の確保及び職員の資質向上

- 研修計画に基づくサービス管理責任者・相談支援専門員の養成

エ 情報公開の推進

- 保護者等への支援状況の報告
- 定期的なホームページの更新
- かじかさわ通信の発行

② 自主自立経営の確立

ア 健康経営の推進

- 業務管理システムを活用した業務の効率化

イ 収入の確保と経費節減

- 職員提案制度等の活用

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

- さくら市自立支援協議会による福祉の仕事説明会への参加

イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

- いちごハートねっと事業への参加（おこまり相談事業、物品の貸出）

- さくら市との福祉避難所の設置運営に関する協定の締結（継続）

- 栃木県災害福祉支援チーム（D W A T）への登録

ウ ボランティアの育成と連携

- 「桜ふれあいの郷まつり」におけるボランティアの受入

- 「桜ふれあいの郷まつり」や「センターふれあい交流会」による地域住民とのふれあいの実施

(5) 清風園

利用者の権利を擁護し、利用者個々の自己選択や自己決定の意思を尊重しながら、自立と

社会参加を支援することにより、利用者の自己実現を図るなど、質の高い障害福祉サービスを提供する。

事業運営に当たり、本年度は次の事項について重点的に実施することとする。

○介護用リフト等を活用した「ノーリフティングケア」の推進による利用者及び職員の身体的負担の軽減

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

○権利擁護委員会の開催

○職員倫理綱領及び職員行動規範の隨時見直し

○虐待防止委員会の開催

○利用者の意見を反映した個別支援計画書の作成

イ 安全で快適な利用環境の確保

○介護用リフト等を活用した「ノーリフティングケア」の推進による利用者及び職員の身体的負担の軽減

○利用者の高齢化、重度化、高次脳機能障害、発達障害に対応するための研修受講

○自己評価の実施

○リスクマネジメント委員会の開催

○感染症マニュアルの改定

ウ 人材の確保及び職員の資質の向上

○職場内研修の充実

エ 情報公開の推進

○定期的なホームページの更新

② 自主自立経営の確立

ア 健康経営の推進

○職員提案制度等の活用

イ 収入の確保と経費節減

○関係機関との連携による利用定員の確保

○専門職を中心とした健康管理の実施

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

○体験実習の受入

○さくら市自立支援協議会による福祉の仕事説明会への参加

イ 施設の特性をいかした地域貢献活動

○いちごハートねっと事業への参加（おこまり相談事業、施設機能の貸出）

○さくら市との福祉避難所の設置運営に関する協定の締結（継続）

○栃木県災害福祉支援チーム（D W A T）への登録

ウ ボランティアの育成と連携

○さくら市ユースボランティアの受入

(6) 宝木保育園

宝木保育園の基本方針と保育所保育指針に基づき、子どもたちの最善の利益を考え、心身の健やかな成長を支援するための多様な保育サービスを提供していくほか、地域の子育て支援拠点として、相談窓口の設置、交流保育及びボランティア等の受入を継続して実施する。

事業運営に当たり、本年度は次の事項について重点的に実施することとする。

○防災対策に係る備品の整備による災害時の安全確保

○園庭への築山整備による保育環境の充実

（主な事業）

① 質の高いサービスの提供

ア 利用者本位のサービスの提供

○保育理念・保育士倫理綱領の周知徹底

○自己評価の実施

○危機管理・安全対策検討班の設置

○アンケートの実施（年3回）及び意見箱の設置

○園庭への築山整備による保育環境の充実

イ 安全で快適な利用環境の確保

○防災対策に係る備品の整備による災害時の安全確保

○延長保育の実施

○リトミック、体操、英語、サッカーの各種教室の実施

○異年齢児間・世代間交流事業の実施

- 一斉メールによる連絡、情報発信
- アナフィラキシー症状に関する職員研修の実施
- 防災・防犯訓練の実施

ウ 人材の確保及び職員の資質の向上

- 園内外研修の実施

エ 情報公開の推進

- 保護者の体験保育の実施
- 園だより、保健だより、食育だよりの発行
- ホームページによる写真を活用した保育活動の紹介

② 自主自立経営の確立

ア 収入の確保と経費節減

- 待機児童解消に向けた受入
- 一時保育及び休日保育の実施

③ 地域社会への貢献

ア 福祉人材・支援技術の活用

- 男性保育士によるイクメン推進講座の実施
 - 職場体験学習の受入
- イ 施設の特性をいかした地域貢献活動
- 地域子育て支援拠点事業（子育てサロン宝木）の実施
 - 保育士有資格者再就職に向けた実習の受入
 - 栃木県災害福祉支援チーム（DWAT）への登録
 - 赤ちゃんの駅、子ども110番、イベント用機材の貸出し等の実施
- ウ 行事等へのボランティアの受入
- 地域、学生ボランティアの受入
 - シルバーボランティアの受入

2 生きがい健康部

(所管事業)

事業所名	事業名称			備考	
健康づくり課	指定管理事業 高齢者生きがいづくり支援事業	とちぎ健康の森	とちぎ健康づくりセンター		
生きがいづくり課			中央校	プール・トレーニング室利用、健康づくり講座他施設貸出	
		県南支所	とちぎ生きがいづくりセンター シルバー大学校	640人 (160人×2コース×2学年)	
				240人 (120人×1コース×2学年)	
				240人 (120人×1コース×2学年)	
		ねんりんピックとちぎ開催事業		はつらつ とちぎ 21推進 事業(委 託事業) スポーツ・文化交流大会、作品展	
		全国健康福祉祭(ねんりんピック) 派遣事業		スポーツ・ふれあいスポーツ・ 文化交流大会、美術展	
		生きがい推進員運営事業		地域文化伝承団養成支援事業	
		介護支援専門員実務研修受講試験 事業		指定実施機関	
		介護支援専門員研修事業		法定研修、指導者養成研修、 指導者会議	
		賛助会員入会促進事業		法人会員	
		情報誌発行事業		補助事業 年間4回発行	
生きがい就労課	シルバー人材センター事業に対する支援 高齢者活躍人材確保育成事業				

(1) 生きがいづくり課

指定管理事業であるシルバー大学校の運営及び高齢者生きがいづくり支援事業として、高齢者の自主的かつ積極的な生きがいづくりの支援、豊かで生きがいに満ちた高齢社会を形成するため、「とちぎはつらつプラン21(七期計画)」や「とちぎ健康づくり21プラン(2期計画)」に沿った生きがいづくり事業を実施する。

また、とちぎ生きがいセンター県南支所・県北支所の施設管理について、利用者が安全・安心かつ快適に利用できる施設として、敷地内緑地や施設・設備の適正な維持管理に努める。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

○シルバー大学校の運営

- ・地域活動の実践に繋がる学習カリキュラムの充実

(地域活動実習、地域活動団体等とのマッチング実施、同窓会支部等の活動事例紹介等)

- ・授業料等コンビニ収納サービスの実施

○ねんりんピックとちぎ2020の開催

開催期間：5月3日（日）～6月7日（日）

内 容：スポーツ・文化交流大会（19種目）、シルバー作品展（6部門）

○第33回全国健康福祉祭ぎふ大会への選手団派遣

会 期：10月31日（土）～11月3日（火・祝）

派遣内容：スポーツ交流大会・ふれあいスポーツ交流大会・文化交流大会（23種目）

美術展（12点出展）

派遣人員：選手・役員 計170名（見込）

○介護支援専門員実務研修受講試験の実施

試験日：10月11日（日） 受験者数：700人（見込）

※ 試験手数料改定（8,800円→13,800円）

○介護支援専門員の各種法定研修の実施

実施期間：5月～翌年3月 受講者数：1,230人（見込）

② 自主自立経営の確立

○シルバー大学校生の健康度調査等による入学者の確保

○賛助会員向けサービスの強化等による会員増への取組強化

③ 地域社会への貢献

○シルバー大学校卒業生の健康づくり講座の実施やねんりんピック派遣選手の活用

○とちぎ健康の森フェス2020等へのボランティアの受入

（2）健康づくり課

生活習慣の改善による生活習慣病の予防とその他県民の自主的な健康づくりを総合的に支援するため、「運動・栄養・休養」の視点から様々な健康づくり事業を行う。

特に、「とちぎ健康21プラン（2期計画）」や「栃木県健康長寿とちぎづくり推進条例」

に基づき設置された「健康長寿とちぎづくり推進会議」の一員として、関係機関・団体との連携協働により事業を実施する。

また、県民誰もが安全・安心かつ快適に利用できる公の施設として、「とちぎ健康の森」の敷地内緑地の適正管理や施設・設備の維持管理に努めるとともに、とちぎ健康づくりセンター及びとちぎ生きがいづくりセンターの広報活動や施設の利用・貸出に係る情報を個人情報の保護に配慮しつつ「おもてなしの心」をもって利用者へのサービス向上に努める。

(主な事業)

① 質の高いサービスの提供

- 利用者ニーズに応じた施設利用講習、健康づくり講座、集団指導、体力測定等の実施
- 地域や団体等に出向いた講座や研修会の実施
 - ・企業・団体等と連携した出張講座
 - ・市町職員等の健康づくり活動を支援する研修会
 - ・県南・県北支所を活用した講座等の実施
- 利用者の状況や目的に応じた専門職種によるチーム体制の支援
- 健康づくりに関する相談や情報提供、普及啓発
- 調査研究及びノウハウを生かした新たな講座等の実施
- 定期設備点検及び保安警備、敷地内緑地管理等、とちぎ健康の森の施設・設備等の適正な維持管理の実施
- 災害・事故等の危機管理対策の徹底
- 公平な施設の貸出及び利用の確保
- サービス向上委員会等の開催
- 利用者ニーズや利便性を考慮した施設運営
 - ・プリペイドカード特典の充実
 - ・企業等への利用チケット制の実施
 - ・コンビニ収納サービスの実施
 - ・オリジナルグッズの有償頒布

② 自主自立経営の確立

- アンケート等による利用者ニーズの把握やニーズに沿った運動・栄養・休養の各種事業の展開による利用者の確保
- 継続利用に向けた仕組み（運動メニューの作成や集団指導）作りの実施

○電力・ガスのデマンド監視による最大需要量の抑制、省資源・省エネルギーへの取組

③ 地域社会への貢献

○電話や来訪による随時健康相談の実施

○地域住民や学校等からのボランティアや職場体験の積極的な受入

○県民への一部施設の無料開放（県民の日・家庭の日）

○災害時に応じた自衛消防組織及び県や関係機関との連絡・協力体制の整備

○施設が有する災害時対応機能の地域住民への周知

○各施設・事業の連携によるとちぎ健康の森フェス2020の開催

○主催イベント（とちぎ健康の森フェス2020）への運営ボランティアの受入や小学校・自治会等の参加呼びかけ

(3) 生きがい就労課

高齢者が長年培った豊かな経験と知識・技能を生かし、働くことを通して地域社会の活性化に貢献し、健康で生きがいをもった高齢期を送ることができるよう、高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、安全で適正な就業を提供するための普及啓発、研修、相談・指導等を実施する。

なお、具体的な事業は、公益財団法人栃木県シルバー人材センター連合会が運営する。

ア シルバー人材センター事業に対する支援

栃木県内のシルバー人材センター事業の普及啓発、運営の相談、指導及び助言を行うとともに、県内センターの会員確保及びシルバー事業の拡充を支援する。

イ 高齢者活躍人材確保育成事業

地域の高齢者や企業に対する積極的な周知・広報、就業体験を通した高齢者、企業双方のシルバー人材センターに対する理解促進、及び必要な技能講習の実施により、新規会員及び活用企業の増加を図る。

IV 利用実績及び計画

1 総務福祉部

(単位：人)

わかくさ	平成30年度実績			令和元年度見込			令和2年度計画		
	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率
世帯数（世帯）	214	17.8	89.2%	216	18.0	90.0%	240	20.0	100.0%
家族人員	602	50.1	—	594	49.5	—	660	55.0	—
母親	214	17.8	—	216	18.0	—	240	20.0	—
児童	388	32.3	—	378	31.5	—	420	35.0	—

桜ふれあいの郷	平成30年度実績			令和元年度見込			令和2年度計画			
	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	
児童	措置児童	4,380	12.0	109.1%	3,752	10.2	93.2%	4,015	11.0	100.0%
	契約児童	1,416	3.8	97.0%	1,433	3.9	97.9%	1,453	3.9	99.5%
	施設入所	5,433	14.8	99.2%	5,475	15.0	99.7%	5,448	14.9	99.5%
	生活介護	3,862	14.6	97.9%	3,557	13.6	90.9%	3,888	14.8	99.3%
生活	施設入所	45,625	125.0	92.6%	45,880	125.3	92.9%	46,501	127.4	98.0%
	生活介護	32,977	125.3	89.6%	33,439	128.1	91.5%	34,002	130.2	96.5%
就労	施設入所	14,371	39.3	98.4%	14,170	38.7	97.1%	14,454	39.6	99.0%
	生活介護	5,907	22.4	89.8%	7,004	26.8	107.3%	6,329	24.2	97.0%
	就労継続B	13,044	49.5	90.2%	12,950	49.6	90.2%	13,637	52.2	95.0%
共同生活援助		18,995	52.0	96.4%	19,368	52.9	98.0%	18,922	51.8	96.0%

桜ふれあいの郷	平成30年度実績			令和元年度見込			令和2年度計画			
	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	
短期入所	児童	8	1	2.2%	0	0	0.0%	4	1	1.1%
	生活	198	7	13.6%	146	4	10.0%	120	4	8.2%
	就労	131	2	17.9%	91	2	12.4%	4	2	0.5%
	日中一時	2,365	19	59.9%	2,525	17	64.5%	2,225	17	56.8%

清風園	平成30年度実績			令和元年度見込			令和2年度計画			
	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	平均利用者数	稼働率	
生活	施設入所	16,967	46.4	93.0%	17,404	47.5	95.4%	17,155	47.0	94.0%
	生活介護	13,352	42.7	80.7%	13,412	42.7	80.6%	13,768	43.9	83.0%
	施設入所	17,138	46.9	93.9%	17,231	47.0	94.2%	17,155	47.0	94.0%
	生活介護	10,754	41.2	91.6%	10,929	41.7	92.7%	10,964	42.0	93.4%
就労	就労継続B	5,372	20.5	102.9%	5,294	20.2	101.0%	5,397	20.6	103.4%

清風園	平成30年度実績			令和元年度見込			令和2年度計画			
	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	年間延利用者数	利用実人数	稼働率	
短期入所	生活	727	15	39.8%	446	13	24.4%	292	4	16.0%
	就労	181	7	24.8%	49	5	6.7%	80	3	11.0%
日中一時	生活	120	2	6.6%	134	3	7.3%	132	2	7.2%
	就労	8	1	1.1%	11	1	1.5%	1	1	0.1%

宝木保育園	平成30年度実績			令和元年度見込			令和2年度計画			
	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	年間延利用者数	月平均利用者数	稼働率	
乳児	0歳児	215	17.9	—	184	15.3	—	201	16.7	—
	1歳児	356	29.6	—	360	30.0	—	360	30.0	—
	2歳児	360	30.0	—	360	30.0	—	360	30.0	—
幼児	3歳児	360	30.0	—	360	30.0	—	360	30.0	—
	4歳児	384	32.0	—	384	32.0	—	360	30.0	—
	5歳児	336	28.0	—	384	32.0	—	384	32.0	—
合計		2,011	167.5	104.7%	2,032	169.3	105.8%	2,025	168.7	105.5%

2 生きがい健康部

	平成30年度実績	令和元年度見込	令和2年度計画
とちぎ健康づくりセンター			
施設利用講習年間利用者数（人）	2,218	1,883	3,000
プール・トレーニング室年間利用者数（人）	82,253	80,650	62,961
会議室等年間利用時間（時間）	8,663	8,812	8,900
とちぎ生きがいづくりセンター			
講堂等年間利用時間（時間）	7,490	—	—
県南支所 教室等年間利用時間（時間）	794	—	—
県北支所 教室等年間利用時間（時間）	1,383	—	—
シルバー大学校学生数（中央校、人）	500	531	619
シルバー大学校学生数（南校、人）	218	228	250
シルバー大学校学生数（北校、人）	190	196	214
高齢者生きがいづくり支援事業			
ねんりんピックとちぎ参加人数（人）	2,494	2,359	3,000
全国健康福祉祭派遣実績（派遣場所、人数）	富山県・149	和歌山県・143	岐阜県・170
介護支援専門員実務研修受講試験申込者数（人）	703	632	700
介護支援専門員研修事業延受講者数（人）	1,131	1,030	1,230